2 伊丹市災害対策本部の動き

1月17日
5:46 兵庫県南部にマグニチュード7.2
の地震発生
5:50 伊丹市災害対策本部設置（消防局）
5:52 消防局で、119による救急要請
第1報（池尻地区）
5:55 本部長（市長）災害対策本部到着
6:00 伊丹市防災指令第1号発令
6:00 全市に災害救助法発令（1月22日14時通知、週及び適用）
6:10 災害対策本部を市役所1階に移設
（本部長・市長）
6:10 災害対策本部会議
6:10 避難所として市施設を開設
6:11 消防局より本部長へ災害状況、災害活動の状況、救助活動
方針等を報告
6:20 伊丹市防災指令第2号発令
7:00 自衛隊隊診療隊仮設伊丹駅舎崩壊現
場へ到着
7:11 災害命令第1報（関有頭5丁目2
0・ハマヤ寮）
7:55 自衛隊第36普通科連隊連絡幹部
に口頭にて災害派遣出動要請
（仮設伊丹駅舎崩壊現場への救助
要請）
8:30 災害対策本部会議
8:40 自衛隊隊監部へ正式に災害派遣出
勤要請（電話が通じた時間）
9:00 救助物資等の調達
（主食・毛布・降雨用防水シート
・飲料水等）
9:00 避難所27箇所開設
9:05 本部から県に対し、自衛隊の要請
（事後報告）、被災状況の報告
9:30 県へ断水約25、000戸のため、
応急給水支援を要請

9:30 三田市、川西市、豊岡市町等から
応援可能の申し出
14:00 県へ救援物資の要請
（食糧・飲料水・防水シート・生活必需品・仮設住宅他）
17:00 災害対策本部会議
① 被災状況の報告
② 本部長からの指示事項
本部長の自地の役割に基づき、災害救助活動と本体任務の
確認を遂行とその報告
○ 人命救助第一
倒壊家屋からの出火警戒とガス中圧管破損による二次災害
の防止
○ 生活物資の確保
（1）避難所における食糧・毛布・飲料水等救援物資の確保
（2）量販店、スーパーの開店、生活物資の確保等要請、特に飲
料水の確保と十分な給水支援
（3）市民生活の早期復旧

水道の復旧
交通の確保
・幹線道路上の障害物の除去
・バス運行の早期復旧
・傷病者、災害避難者への重点的対応
・食料品等の生活物資の安定供給を市内量販店に要請

18:00 伊丹市防災指令第2号解除同1
号に切替
1月18日
9:00 災害対策本部班会議
① 自衛隊、他都市等の応援を
得て、被災市民の救護に全力をあげる

—23—
② 避難者への生活物資の確保・供給
③ 病院・避難所への拠点給水、医療救護班の避難所巡回
④ 仮設住宅の建設、その他公営住宅等空家への入居斡旋
⑤ 道路の早期復旧
⑥ 避難所に仮設トイレの設置
⑦ 水道業者協会に応急復旧の支援要請
⑧ 降雨対策として、防水シートの確保
⑨ ゴミ対策（大型・不燃性ゴミ）

10:00 市会議員総会
被害状況、復旧状況・計画報告

17:00 災害対策本部員会議
① 被害状況、救助活動の現状報告
② 被害住宅等の調査手法検討

1月19日
9:00 災害対策本部員会議
① 被害状況の報告
② 避難者への物資供給状況
③ 救護ボランティアの状況等
④ 他都市等給水援助到着（豊岡市・国分寺町・宇都宮市・真岡市・豊川県・東京消防庁、県企業庁他）
⑤ 不燃性廃材（市内北伊丹）に中間処理場設置

17:00 災害対策本部員会議
① 被害状況、復旧状況（主に水道、道路障害物除去、大型ゴミ収集）計画等
② 建物安全度チェック建築士会伊丹支部に要請
③ 被災世帯への降雨対策

1月20日
9:00 災害対策本部員会議
① 避難所での救助活動の状況
② 被害状況および復旧状況・計画等
③ 降雨対策として災害弱者を優先に防水シート4, 255世帯に配布
④ 建物用木材積積場を（市内神津地区）に確保することを検討（1月24日開設）
災害対策本部員会議

1月21日
9:00 災害対策本部員会議
① 被害状況および復旧状況・計画等
② 他都市給水援助到着（宮津市・豊岡町）
③ 物資搬送センターの設置

17:00 災害対策本部員会議
① 被災世帯への降雨対策
② 被害状況および復旧状況・計画等

1月22日
9:00 災害対策本部員会議
① 避難所への救授物資配布状況
② ボランティア申込み状況（53名）
③ 被害状況および復旧状況・計画等
④ 仮設住宅（池尻30戸・荻野50戸着工）
災害対策本部員会議

17:00 災害対策本部員会議
① 建築物危険度判定の実施
② ボランティア活動状況
③ 被害状況および復旧状況・計画等
3 消防活動の概要

① 消防局・消防団の現状

(1) 消防局・消防団

署所数 1本部 2消防署 4出張所
消防職員 179名
消防車両 28台
・普通ポンプ車 4台
・タンク車 3台
・化学車 4台
・はしご車 2台
・救急車 4台
・救助工作車 2台
・その他 9台
消防団 1団 6分団
団員 101名
車両 7台
・普通ポンプ車 3台
・小型動力ポンプ積載車 3台
・その他 1台

(2) 消防水利
・公設消火栓 3,080基
・防火水槽 328基

※ 地震による破損水槽
発開行為に伴い平成元年3月に設置された防火水槽（耐震強度60mの指定水槽）1基がひび割れ破損した。

(3) 建物取り壊し業者幹部等
② 初動措置・非常拝集の現状

(1) 初動体制
当務員47名で初動措置を行った

(2) 119番の受付状況
地震発生により通信指令室が損壊し、その上は停電により一時パニック状態となったが、すぐに非常電源が稼働し、119番持続回線（10回線）は接続することでなく正常に働き、一会に119番通報を受信することができた。17日午前5時46分地震発生から24時までの119番受信回数は500件数を数え、通常の14倍の受信回数であった。

NTT回線・衛星無線回線は地震発生当初不通、消防無線は異常なく作動し、情報の収集・伝達手段として緊急時にも有効な設備として大いに運用することができた。

(3) 職員参集状況
発災時から自発的参集、所属からの連絡により参集した者は、
・1時間以内の参集状況 44名
・2時間以内の参集状況 23名
・3時間以内の参集状況 22名

リバーサイド武庫川
復旧: 平成7年3月末